青少年ひょうご No. 87

特集

ふるさとづくり青年隊の取り組み

編集・発行　2015 年 1 月発行

公益財団法人**兵庫県青少年本部**
〒650-0011
神戸市中央区下山手通 4-16-3
兵庫県民会館 8 階
TEL078-891-7410　FAX078-891-7418
HP　http://www.seishonen.or.jp/

〈地方青少年本部〉

阪神南青少年本部	06-6481-4634	西播磨青少年本部	0791-58-2131
阪神北青少年本部	0797-83-3138	但馬青少年本部	0796-26-3648
東播磨青少年本部	079-421-9105	丹波青少年本部	0795-72-5168
北播磨青少年本部	0795-42-9352	淡路青少年本部	0799-26-2048
中播磨青少年本部	079-281-9198	神戸事務部	078-382-8249

CONTENTS

P２　★特集★
ふるさとづくり青年隊の取り組み
P６　★本部事業報告★
・平成２６年度「兵庫県青少年本部表彰」
・大学生向けライフプランセミナー
・青少年活動リーダー・スキルアップ研修
・ひょうご青少年社会貢献活動認定制度交流フォーラム
P８　★地方青少年本部通信★
・第１８回東播磨地区子ども会議（東播磨）
・伝統文化ふれあいフェア（中播磨）
・西播磨オータムフェスタ in 光都 2014（西播磨）
・山陰海岸ジオパーク小学生駅伝競走大会（但馬）
P９　★こころ豊かな人づくり 500 人委員育成事業★
P10　★青少年施設だより★
・県立こどもの館
・県立山の学校
・県立神出学園
P11　★兵庫県青少年を守る店連絡協議会★
P12　☆～information～
☆　賛助会員募集

ふるさとづくり青年隊の取り組み

ひょうごの元気や活力を維持･拡大していくためには、未来を担う青年層が、心の拠り所を兵庫に持つこと、すなわち、“ふるさと意識”を持つことが重要です。

青少年本部では、その一環として、「地元青年」と「他地域の青年」が「ふるさとづくり青年隊」を結成して、地域団体等と連携し、地域の活性化や課題解決に取り組む「ふるさとづくり青年隊」事業を推進しています。

現在、県内 10 地区で、地域の魅力づくりや世代間の交流事業、さらには故郷での暮らしの創造など、若い力や感性を生かした多彩な取り組みが展開されています。

「これからの島のくらしをつくる学校の放課後（通称：島の学校の放課後）」

これからの島のくらしをつくる学校の放課後（南あわじ市）

淡路地区では、NPO 法人ソーシャルデザインセンター淡路（ＳＯＤＡ）を核に、「ふるさとづくり青年隊」の青年２１名により、「これからの島の暮らしをつくる学校の放課後(通称：島の学校の放課後)」を結成。１年間にわたり、活動の拠点となる古民家の修復・整備、さらには、裏山の環境整備などのフィールドワークや意見交換を通じて、島の魅力を再発見する多彩なプログラムを提案していきます。

第１回（７月５日）「入学式」

築150年以上の古民家で「ふるさとづくり青年隊」初の顔合わせ。島の学校の校長先生の挨拶に続き、今後の活動に期待を膨らませるメンバーたちが、感じたことややりたいことなど、それぞれの活動に対する思いを熱く語り合ったほか、裏山から切った竹を燃料に手作りの石窯を使ってのピザづくりを体験しました。

第２回（７月１９日）「ふるさとづくり青年隊 全県交流会」

県内10地区の「ふるさとづくり青年隊」事業実施団体が一堂に会し、青年隊相互の交流や意見交換を行う「全県交流会」に出席。「島の学校の放課後」の活動紹介や活動を通じての感想、これからの活動に対する意気込みを力強く発表するとともに、熱心に意見交換を図りました。

第３回（８月３１日）「古民家の再生を考える」

裏山の枯竹の切り出しや間伐を行うなど竹林を整備したほか、切り出した竹を使ってそうめん台を手作りし、「そうめん流し」による天然の涼を楽しみながら、活動拠点となる古民家の再生方法について、知恵を出し合いました。

第４回（１０月１８日）「城下町洲本・レトロなまち歩き」

地域を知り、活動の充実を図るため、まちの再生と活性化を目的に有志のボランティア市民が企画運営するまち歩きイベント「城下町洲本･レトロなまち歩き」に参加しました。

400年の歴史がある洲本で、年々増える空き家や空き地を活用したバザール店がオープンし、食と歴史、まちの魅力を体感し楽しみながら、散策しました。

第５回（11 月 15 日～16 日）「古民家合宿」

ゲストスピーカーとして、淡路島に移住し、現在は地域ネットワークを活かした研修等企画を行う富田雄祐氏を迎え、「これからの古民家活用」や「仕事におけるワクワク感」などをテーマにトークセッションを実施しました。

この日は、青年隊自らが再生に関わっている古民家での宿泊体験も行い、非日常空間でひと味違った生活に触れながら、夜が更けるまで「地域の魅力」や「古民家のこれから」などについて語り明かしました。

今後の予定

第６回（１月下旬）「やりたいことをデザインする」

第７回（２月１５日）「カタチを発表する」

ふるさとづくり青年隊のつぶやき

☆地域活性化に取り組むとき、何でも「新しい価値観」を取り入れるのではなく、今ある地域の魅力を大事にするべきでは？！

☆本当の勝ち組は金持ちでも権力者でもなく、コミュニティで自分の価値を見いだすことが出来、そこに幸せを感じる人であって欲しい・・・！！

就労機会を求めて若者が島外へ流出する一方で、豊かな環境を求めて都市部から新たな移住者も増加傾向にある淡路島。島の価値や魅力を再確認することがこれからの地域づくりには不可欠です。

ふるさとづくり青年隊が共に考え、語り合い、お互いの気づきを得て、先頭を切って新たな一歩を踏み出してもらえることを期待しています。

３月２１日（土）には、ふるさとづくり青年隊「成果発表会」を兵庫県公館（神戸市中央区）で開催し、県下各地で行われてきた取り組みや成果などが発表される予定となっています。

いえしまの暮らしの魅力に基づいた“島のみやげづくり”プロジェクト

家島ふるさとづくり協議会(姫路市)

まちの課題

家島の観光客は年々増加しているものの、観光による地元経済への波及効果も限定的であり、地域資源を生かしたより充実した島の魅力発信が求められている。

家島の若者と家島外の若者の視点で、家島ならではの食・人・景観等の魅力を再発見・整理し、新たなお土産を企画、商品化するとともに、開発した土産品は、都市部の百貨店等で販売するなど家島の魅力、地域情報を発信する。

佐用町の魅力発信事業

空き缶でもうけてもええ会(佐用町)

まちの課題

過疎化が進む地域で、交流やにぎわいを創造していくためには、情報発信が不可欠であり、そのためには、地域外の視点、特に若者の視点が必要である。

空き家を活用した「おさようハウス」を取材・交流拠点として整備し、地域内外の若者が、地域づくり協議会と交流。若者たちが佐用の魅力を発見し、情報誌「Viscom」を発行するなど、様々なメディアを通じ情報発信する。

あけのべふるさとづくり青年隊事業

「鉱石の道」明延実行委員会(養父市)

まちの課題

明延鉱山の閉山後、急激な人口減少と高齢化により明延地区は「限界集落」化していることに加え、地域活動の担い手の高齢化に伴い、事業の企画力や情報発信力に課題がある。

「一円電車体験乗車会」などを体験しながら、若者が地元と交流し、地域の現状と課題を知る。

「あけのべ一円電車まつり」では、若者による企画イベントを実施。SNSを使った情報発信などにより、明延の魅力を若い世代にPRする。

三世代交流ヤングフェスティバル in2014

池尻小学校まちづくり協議会(伊丹市)

まちの課題

地域には多くの若者が在住しているものの、地域活動に参加する若者が少なく、世代間の交流が進まないことが課題であり、「ふるさとづくり青年隊」による活動に期待がかかる。

自治会、社会福祉協議会など既存団体が中心の地域イベントのあり方を見直し、地元以外の若者の視点も取り入れた、新しいイベントを企画し、地域内外の若者、各世代の交流をめざす。

夢ある但馬はＮＥＸＴ

Next Door(豊岡市)

まちの課題

但馬地域は面積が広く、人口も少ないため、若者が主役となり、日頃培った力を発揮する機会が少ない。

「夢但馬2014」と連携しながら、「バーベキュー体験」や「絵本づくりフォーラム」、「但馬まるごと感動市」などの地域・交流イベントを若者が企画・実施する。

伊丹ミュージックフェスティバル in　2014

伊丹商店連合会(伊丹市)

まちの課題

伊丹市中心市街地の賑わいに比べると、中心部以外の商店街には、もう少し元気が欲しい。

賑わいを全市域に広げるため、若者が企画運営する「GREEN JAM」を開催し、地域内外の若者が音楽やダンスを通じて交流する。イベント開催を機に若手経営者層を組織化し、今後のまちづくりを担う人材を育成する。

丹波焼きの魅力創造・発信事業

やきものの里プロデュース倶楽部(篠山市)

まちの課題

800 年の歴史を受け継ぐ丹波焼の里への来訪者は横ばい状態であり、登窯修復を機に、丹波焼の魅力発信、ブランド力向上を図る。

都市部の若者と若手丹波焼窯元が交流し、意見交換を通じて、新たな事業展開を検討する。参加者は都市部若年層等への丹波焼の魅力向上策、新たなファンの獲得等、若者の発想による新たな取り組みを実践する。

いちのみや拠点エリア活動推進事業

しそう森林王国協会(宍粟市)

まちの課題

「千町拠点エリア」内の森林体験施設は、アクセスの悪さ、冬期の積雪等から利用者が少ない。施設の利用促進に向け、魅力的な活動プログラムを検討する。

参加者自らが森林環境体験を実践した上で、課題を抽出し、エコツーリズムや環境学習プログラム等を作成する。また、持続的な活動につなげていくため、運営体制や地域の協力、ボランティアスタッフの募集方法等についても検討する。

大路地域交流プロジェクト

大路未来会議(丹波市)

まちの課題

春日町大路地区では、少子高齢化が進む中、都市部から若者が移住している。この流れを確実なものにしていくためには、住まいと職の確保が必要である。

農業体験や伝統行事体験を実施するとともに、大路地区に移住した若者たちとの交流・意見交換を通じて、田舎暮らしの魅力と移住に向けた課題を認識する。将来の参加者の移住も視野に、参加青年との交流を継続。大路ファンをつくり、参加者に都市部で情報発信してもらう。

■本部事業報告■

平成26年度「兵庫県青少年本部表彰」

兵庫県青少年本部表彰は、地域で地道に優れた活動を展開している青少年等並びに青少年指導者等を表彰し、その活動をさらに奨励するものです。

平成２６年度の受賞者が、下記の１２名・３団体に決定し、１１月３０日（日）に兵庫県民会館１１階パルテホールで表彰式を行いました。ガールスカウト活動に取り組んでいる改発さんは、「今後も一層活動に励んでいきたい」と受賞の感想を述べられました。

受賞者・受賞団体

≪青少年等の表彰≫

（1）個人（7名）

川﨑　朋世（姫路市）
改発　成美（姫路市）
大屋敷　守（相生市）
曽谷　信次（たつの市）
山本　雄亮（明石市）
網干　翔子（神戸市）
山下　　諒（明石市）

（2）団体（1団体）

兵庫県立西脇北高等学校生徒会ボランティア部（西脇市）

≪指導者等の表彰≫

（1）個人（5名）

小紫　邦夫（三木市）
高木　敬三（揖保郡太子町）
足立　一夫（丹波市）
村上　隆司（養父市）
笠原　章雄（西宮市）

（2）団体（2団体）

加古川市少年補導委員会（加古川市）
西脇市剣道連盟（西脇市）

「大学生向けライフプランセミナー」

ひょうご出会いサポートセンターでは、今年度から、未来の親となる大学生に、早い時期から自らの将来について考える機会を持つことができるように、未婚化・晩婚化の現状、出産適齢期、ワーク・ライフ・バランスの必要性などへの理解を深めるセミナーを実施しています。

第１回目として、７月３０日（水）に甲南大学ポートアイランドキャンパスにおいて、理系学生に焦点をあて、男女共同参画学協会連絡会が実施した「第３回科学技術系専門職の実態調査結果」より、理系研究者の現状についての講演や、家庭を持ち理系研究者として働いている女性による体験談、さらにパネルディスカッションを実施しました。

参加した約８０名の大学生からは、理系ならではの職業選択や生活設計についての熱心な質問が多く出され、自分たちの将来に具体的なイメージを持つことができました。

また、最後にパネリストから「今できることにしっかりと取り組み、今後、選択をするときに備えることが大切である」というメッセージをいただき、非常に有意義なセミナーとなりました。

青少年活動リーダー・スキルアップ研修

　１０月４日～５日、１１月２９日～３０日の４日間に渡り、青少年活動リーダー・スキルアップ研修をＯＡＡはりまハイツで開催しました。

　県内の青少年活動・育成活動に携わる指導者を対象として、団体・グループ等の枠を超えた広い視野で青少年活動あり方や課題等についてワークショップ、講義形式で学びました。

　リーダーとして活動するために必要な専門的知識を習得し、リーダーシップと意識の高揚を図るため、今回のテーマは「リーダーって何？　リーダーを育てるためには？」。特に「リーダーとしての自身の成長」と「次世代リーダーの育成」について研修を深めました。

　また、今年度は阪神・淡路大震災から２０年が経過することから特別講師に神戸ＹＭＣＡ常勤理事の尾上尚司氏をお招きして「災害救援とボランティア活動」を演題としてご講義いただきました。

ひょうご青少年社会貢献活動認定制度　交流フォーラム

　１１月１９日（水）、兵庫県農業共済会館において「ひょうご青少年社会貢献活動認定制度交流フォーラム」を開催しました。

　青少年が青少年団体・ＮＰＯ法人等が実施する子どもの体験活動や被災地復興支援活動など社会貢献事業に一定期間参加した場合、その活動実績を公的に認定する「ひょうご青少年社会貢献活動認定制度」は、平成２２年度からスタートして５年目をむかえ、今年度は１６団体２０事業が承認され、各事業に計９２名の青少年が参加し、３月の修了認定に向けて実践活動に取り組まれています。

　この制度には、平成２５年度までに４３５名が参加し、１９０名が修了認定者となっており、また、社会貢献活動に深い理解を寄せられ、本制度にご賛同いただいた企業・団体が、平成２６年１１月末現在、１４４企業・団体となるなど、大きな輪が着実に広がりつつあることを実感しています。

　フォーラムでは、今年度事業実施されている団体からの活動発表、パネルディスカッション、グループ討議を行いました。パネルディスカッションでは、事業実施団体や賛同企業の方に加え、今回初めて本制度の修了認定者の方にもパネリストとしてご参加いただき、グループ討議では、青少年の社会参加の重要性や本制度の情報発信の必要性など熱心に意見交換が行われました。

●地方青少年本部通信●

青少年育成や地域づくりの分野での様々な活動を各県民局（地方青少年本部）単位で推進・支援する地域活動コーディネーターが、地域のイベントや催事などを紹介します。今回は、次の４つの本部からの報告です。

東播磨
青少年本部

ケーキづくり・クリスマスクラフト木工体験

友達の輪を広げる「第１８回東播磨地区子ども会議」

１２月１３日（土）、加古川市立少年自然の家において「第１８回東播磨地区子ども会議」を開催しました。東播磨の３市２町から小学校４～６年生の男女７９人が参加し、自然あふれる場所でケーキづくりとクリスマスクラフト木工体験の共同作業を通して、友達の輪を広げる一日を楽しみました。

ケーキづくりは、みかしほ学園日本調理製菓専門学校（姫路市）の水野博校長の指導により、薪の形のケーキ「ブッシュ・ド・ノエル」作りに挑戦しました。子どもたちは水野先生からクリスマスケーキの由来を聞いたあと、会話を弾ませながら、グループ毎にケーキをつくり、みんなで出来立てをおいしく食べました。

また、クリスマスクラフト木工体験は、電動糸鋸で切った木を焼板にして、飾り付けをしました。子どもたちの独創的なアイデアで、個性的な作品が出来上がりました。

「知らない人ばかりで最初は戸惑ったけれど、作業をするうちに仲良くなれてうれしかった。」と目を輝かせて語ってくれた子どもたちの笑顔のまぶしさに私の心も充実感でいっぱいになりました。

（橋本　りか）

中播磨
青少年本部

昔懐かしい手づくりの楽しさを体験

伝統文化ふれあいフェア

１０月１９日（日）、姫路港飾万津臨港公園で「伝統文化ふれあいフェア」を開催しました。同時開催の「姫路港ふれあいフェスティバル＆中播磨地域活動交流メッセ」を合わせ、約４，０００人の方にご来場いただき、大いに盛り上がりました。

こころ豊かな人づくり５００人委員現役生が指導員として参加した万華鏡づくり（トイレットペーパーの芯など廃材を利用）のほか、５００人委員中播磨ＯＢ会によるポン菓子・ポップコーンの実演・配付、ボーイスカウト兵庫連盟姫路地区協議会による缶バッチづくり・火おこし体験を実施しました。

参加した子どもたちが目を輝かせて真剣に取り組む姿は非常に印象的で、保護者の方からも大好評でした。

このフェアを通して、子どもたちは昔懐かしい手づくりの楽しさを心と身体で味わえたのではないでしょうか。世代間交流やふれあいの場ともなり、心温まる一日となりました。

（入江　里映）

西播磨
青少年本部

ふるさとをプロデュースしよう！

西播磨オータムフェスタ in 光都 2014

１０月２６日（日）、西播磨の秋を満喫できるイベント「西播磨オータムフェスタ in 光都２０１４」が、同実行委員会の主催により西播磨総合庁舎及び芝生広場で開催され、西播磨青少年本部も実行委員会の一員として子どもたちの活動発表や体験活動の機会を提供しました。

庁舎内コンコースの特設ステージで開催した「西播磨ステージ」では、少年少女合唱団や子ども歌舞伎クラブの発表、高校生による福祉ファッションショーやダンス、箏やギター演奏などを通じ、多くの子どもたちが芸術文化に親しむことができました。

また、芝生広場で開催した「親子体験教室」では多くの親子が木工やミニアスレチック、段ボールハウス作りなど、ものづくりや創造性豊かな遊びを体験しました。

会場各所に咲いた親子の笑顔も印象的でしたが、学生ボランティアに子どもたちの指導や団体の活動に関わってもらう機会を作り出せたことが、コーディネーターとして最も嬉しいことでした。

（髙橋　弘樹）

但　馬
青少年本部

～出会い・感動～　夢但馬２０１４

山陰海岸ジオパーク小学生駅伝競走大会

平成２年から続いている但馬小学生駅伝競走大会。今年度は参加エリアを拡大して１０月２５日（土）に兵庫県立但馬ドーム周辺コースで「山陰海岸ジオパーク小学生駅伝競走大会」として開催しました。

山陰海岸ジオパークは、科学的にも貴重で美しい地質遺産を含む自然公園で、地域活動が評価され平成２２年１０月に世界ジオパークネットワークに認定されました。

これを契機に府県を超えた交流をとの提案を受け、準備を進めてきました。但馬地域に加え鳥取市、岩美町、京丹後市から男女合わせて１０８チーム、総勢６０３名の小学生が参加しました。

但馬ドーム内のグラウンドをスタートし、４区間の周回コース計７，６９０ｍをタスキでつなぎました。秋晴れの中、沿道から多くの声援を受けてどのチームも完走することが出来ました。

男子優勝チームは鳥取県岩美町立岩美西小学校、女子優勝チームは兵庫県香美町立村岡小学校でした。小学生同士の仲間意識が高まり、応援しあう姿は地域を超えた交流となりました。

（西賀　真紀）

～こころ豊かな人づくり 500 人委員育成事業～

“こころ豊かな美しい兵庫”の実現に向けて、次代を担う青少年の育成活動の担い手となるこころ豊かな人づくり５００人委員育成事業は、平成元年度から２０年以上にわたって実施しており、これまで５，０００名を超える修了生を輩出しています。

１１月３０日（日）、兵庫県民会館において、全県ＯＢ交流会を開催しました。午前は「ＮＰＯ法人シミンズシーズ」事務局長　柏木登起さんに「共創時代のつながり方～地域活動をより充実させるためのヒケツ～」と題して、地域活動を一層充実させる方策についてご講演いただきました。

午後からは兵庫県子ども会連合会事務局長の浅見真一さんを進行役として「相互交流会」を行い、ディスカッションなど交流が繰り広げられました。

来年度からは、１４期目を迎えることとなり、新たに募集を行う予定です。県内で開催される講演やワークショップ、フィールドワーク等を通して、青少年育成を通じた地域づくりに役立つ意識を学ぶことができます。また、地域・年代の垣根を越えた人たちと交流する機会もあり、あなたの創造力や実践力をさらに高めることができますので、ご関心のある方は下記までお問い合わせください。

問合せ先　青少年本部　活動支援部　078-891-7410

県立こどもの館

森の子育てひろば～親子で楽しむ森じかん～

県立こどもの館では、就学前の子どもとその保護者を対象とする『森の子育てひろば』を開設しています。「自然のものでつくる」「自然とふれあう」「自然の中で遊ぶ」等をテーマに、親子が自然の中で楽しむことのできるプログラムを実施しています。

回を重ねるにつれて参加者も増え、毎回２０～３０組の親子が参加してくれています。そして保護者には幼児期における自然体験の大切さを理解してもらうとともに、自然とふれあう遊びに積極的に取り組んでもらいたいと願っています。

参加者からは「身近な自然で楽しめることがわかったので、家でもやってみたい」「季節や自然を取り入れたあそびはよい経験になっている」「自然の中で過ごすと親子ともにリラックスができて、子どもとゆったり向き合える」等の感想が寄せられています。

『森の子育てひろば』は原則として毎週木曜日の午前（１０：３０～）午後（１３：３０～）、県立こどもの館の「ふれあい広場」で実施しています。幼児教育や保育、子育て支援に関わる方の見学も受け付けています。詳細については、県立こどもの館までお問い合わせください。

問い合わせ先　県立こどもの館　TEL079－267－1153

県立山の学校

地域に感謝！みんなに感謝！！

県立山の学校では、自然の中の様々な体験を通じて、人間関係を育成し、たくましく生きる力を培っています。今年度も２回目となる「山楽祭」を１１月９日に開催しました。当日は小雨でしたが、来校者は、来賓、保護者、地域の方々を含め、３５０名を超えました。この行事は、生徒たちが、「おもてなし」の心で、来校される皆様を暖かく迎えられるよう昨年度より始めた行事です。

本年度のテーマは、「地域に感謝！みんなに感謝！！」でした。自分たちで育てた農産物や実習で作った木工ベンチ等の日ごろの成果物の販売や焼きそば、姫路おでん、たこ焼きの模擬店も出店し大盛況でした。

また、今年度は、北京オリンピック出場の銅メダリスト朝原宣治氏を招いて、「あきらめなければ夢は叶う」と題した講演会を実施しました。オリンピックでメダルをとるまでの描きつつけてきた夢と軌跡を話されるなど多くの観客者に勇気と希望を与えていただきました。講演会の司会や謝辞も生徒が運営することで、将来に向かって大きな自信につながりました。

問い合わせ先　県立山の学校　TEL0790－62－8088

県立神出学園

県立神出学園の「きらっと光る体験」

☆学園祭

「元気に飛びたとう　希望の未来へ」をテーマに１１月１日（土）学園祭を開催しました。４１期生が入学して最初の合同行事です。前日からの雨もあがり、来賓、保護者、地域関係者など２５０名が参加され大盛況となりました。

ステージ部門は、歌、ピアノ、エアバンド、東北支援事業報告、ダンスパフォーマンス動画、スタッフの１週間をゲームに仕立てた発表です。どの発表も完成度が高く、たくさんの拍手をいただきました。模擬店では、神出学園で収穫した野菜を使ったおでん・焼き芋、フランクフルト、たい焼きなど完売しました。お腹も心も満足していただけたと思います。実行委員会を中心に企画、運営をやり遂げた学園生達は達成感と明日への自信を得ることができました。

☆神出元気アップセミナー

１１月２６日（水）の神出元気アップセミナーでは「レモンさんのきらっと生きる」という題で、ラジオＤＪ山本シュウ氏（通称レモンさん）の迫力ある講演を聴きました。「昭和チップの入った親世代を理解して、自分らしさを大切に生きよう！」という力強いメッセージは学園生・スタッフの心に響き、元気がわき出る体験となりました。

☆体験学習

１２月３日（水）ＮＧＫ（なんばグランド花月）で落語、コント、吉本新喜劇を楽しみました。学園の日常とは違った環境で、頬が緩みっぱなしの１日でした。

問い合わせ先　県立神出学園　TEL078－965－1122

▼青少年活動の現場から▲

「兵庫県青少年を守る店連絡協議会」

～青少年の非行防止、健全育成活動に寄与～

兵庫県青少年を守る店連絡協議会は、昭和５８年に、量販店等における青少年非行を防止するとともに青少年の健全育成に寄与することを目的に設立されました。以来、「非行の入口」と言われる青少年の万引き、未成年者の喫煙、飲酒防止、薬物乱用、インターネット利用対策等に関する啓発活動や調査研究活動に、青少年の健全育成に関わる関係機関・団体と連携しながら取り組んでおり、様々な成果を上げてきました。

平成２６年度の取り組みとして、喫緊の課題である「ネットトラブル未然防止」をテーマとしたメッセージコンテストの実施をはじめ、小学生５年生を対象に非行防止啓発リーフレットを作成・配布するほか、各店舗における万引き防止を中心として健全育成に取り組んでいます。

兵庫県青少年を守る店連絡協議会　加盟企業

イオンリテール(株)・イオンマーケット(株)・イズミヤ(株)・(株)イトーヨーカ堂・(株)関西スーパーマーケット・(株)銀ビルストアー・生活協同組合コープこうべ・(株)星電社・(株)ダイエー・(株)トーホーストア・(株)阪食・(株)マルアイ・(株)ライフコーポレーション　（順不同）

～information～

平成26年度ひょうご青少年活動フェスティバルへの参加者募集

青少年自らがフェスティバルの企画・運営を行い、青少年団体・グループの活動をアピールするとともに、青少年活動を広く県民の方々に知ってもらい、活動に参加する子どもや若者を増やすため開催します。

開催日　平成 27 年２月８日(日)
　　10：00～16：00
場　所　デュオこうべ（デュオドーム）
　　（ＪＲ神戸駅前地下街）
内　容　体験コーナー、スタンプラリーなど
参加費　無料
問合先　青少年本部 活動支援部
　　078-891-7410

「スマホサミット in ひょうご」への参加者募集

青少年のインターネット利用の実態や危険性などについて、家庭・学校・地域の関係者が子どもたちとともに考え、学び、取組の輪をさらに広げる機会とする全県大会を開催します。

開催日　平成 27 年２月 28 日（土）
　　13：30～16：30
場　所　兵庫県民会館 11Ｆパルテホール
内　容　事例発表、公開討論会等
人　数　180 名
参加費　無料
問合先　青少年本部 企画・県民運動担当
　　078-891-7410

賛助会員を募集しています

賛助会費は税制面での優遇措置の対象になります。
ご寄付いただいた方の名簿をホームページに掲載しています。

次代を担う青少年を育成するために、ぜひ皆さまのご協力をお寄せください。
［会費］ 賛助会員（個人） 年額１口　2,000 円以上
　　賛助会員（法人） 年額１口　10,000 円以上
詳細は、兵庫県青少年本部、又は各地方青少年本部までお問い合わせください。

賛助会員カードを呈示すると、以下の施設で入館料・入園料割引等の特典を受けることができます。
◇施設　本人および同伴１名（神戸市立博物館は本人のみ）に団体割引料金適用
◇兵庫県民会館レストラン・喫茶「ピッコロ」・理容室「今井」 本人のみに10％割引
◇県立兎和野高原野外教育センター　レンタル料割引

兵庫県立美術館
《特別展》
「フェルディナント・ボドラー展」
1 月 24 日(土)～4 月 5 日(日)
TEL 078-262-0901
（神戸市中央区）

兵庫県立 人と自然の博物館
《トピックス展》
「意外と身近！？ セアカゴケグモ」
2 月 7 日(土) ～4 月 26 日(日)
TEL 079-559-2001
（三田市）

兵庫県立考古博物館
《企画展》
ひょうごの遺跡 2015
-調査研究速報-
1 月 17 日(土)～3 月 29 日(日)
TEL 079-437-5589
（播磨町）

兵庫県立歴史博物館
《特別企画展》
「災害と歴史遺産」
1 月 10 日 (土)～3 月 15 日(日)
TEL 079-288-9011
（姫路市）

兵庫陶芸美術館
《特別展》
兵庫の陶磁
～2 月 15 日(日)
TEL 079-597-3961
（篠山市）

阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター
《特別企画展》
1.17 阪神・淡路大震災 20 年
伝えよう未来へ世界へ
～6 月 28 日 (日)
TEL 078-262-5050
（神戸市中央区）

神戸市立博物館
《特別展》
チューリヒ美術館展
-印象派からｼｭﾙﾚｱﾘｽﾑまで-
1 月 31 日(土)～5 月 10 日(日)
TEL 078-391-0035
（神戸市中央区）

兵庫県庁2号館 B1 食堂「のじぎく」
割引
ｺｰﾋｰ 300 円→270 円
（但し 11:00～14:00 除）
TEL 078-362-2509
（神戸市中央区）

ひょうご青少年憲章

1　自分を大切にし、自らを律し、行いに責任をもって生きていこう
2　ふれあいを深め、正義感をもち、社会を担う一人として生きていこう
3　人の痛みや喜びを感じあえる心をもって生きていこう
4　多様な人々の存在を受け入れ、ともに支えあって生きていこう
5　自然を愛し、生命を尊び、みえない世界にも襟を正して生きていこう
6　先人に学び、明日に夢をえがき、勇気をもって未来を拓いていこう

◇◆ 編集後記 ◇◆

ふるさとづくり青年隊には、学生や社会人１２９名が参加。平均年齢は、２９．９歳と聞きました。
地域活性化には、持続性のある取り組みが必要と言われているので、若い力は不可欠、今後の活躍にも期待しています。

（N）